

# 山城北保健所管内の感染症発生動向調査

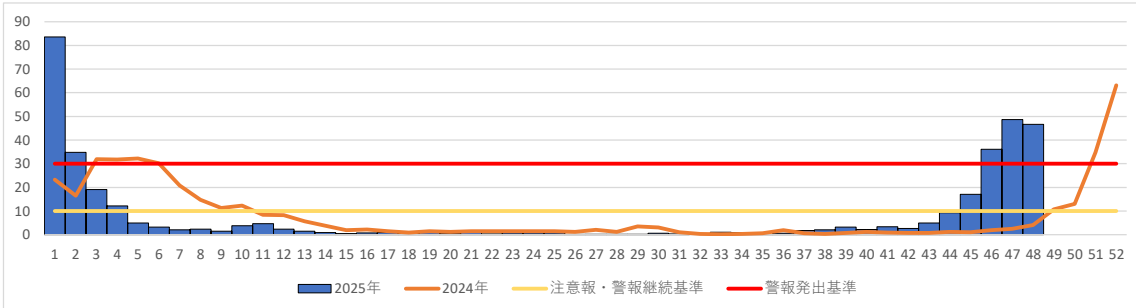
(ARI定点、小児科定点、眼科定点、全数報告)

2025年 第48週 (11月24日～11月30日)

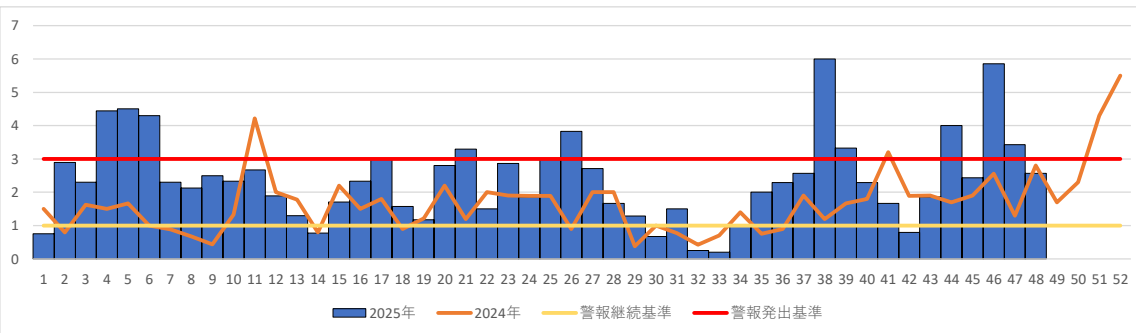
## 今週のコメント

- 「インフルエンザ」の定点当たりの報告数は46.7(47週48.7、46週36.10)と警報レベルを超えています。
- 「咽頭結膜熱」の定点当たりの報告数は2.57(47週3.43、46週5.86)と減少も、依然警報継続レベルを超えています。
- 「新型コロナウイルス感染症」の定点当たりの報告数は1.71(47週1.40、46週2.20)と横ばいで推移しています。
- 手洗い、手指消毒、咳エチケット、こまめな換気等の感染症予防を行い、感染に気を付けましょう。

インフルエンザ(定点把握疾患) 山城北保健所管内週当たり報告数 参考: [https://www.pref.kyoto.jp/idsc/old/2025ful\\_3.html](https://www.pref.kyoto.jp/idsc/old/2025ful_3.html)



咽頭結膜熱(定点把握疾患) 山城北保健所管内週当たり報告数



定点把握疾患 <特定の医療機関(定点医療機関)を定め、その医療機関を受診した患者の数を基に、流行状況を把握>

| 疾患名           | 定点あたりの報告数(前週比) | 疾患名      | 定点あたりの報告数(前週比) |
|---------------|----------------|----------|----------------|
| インフルエンザ       | 46.70 (0.96)   | 手足口病     | 0.57 (4.07)    |
| 新型コロナウイルス感染症  | 2.40 (1.71)    | 伝染性紅斑    | 0.14 (0.33)    |
| RSウイルス感染症     | 0.29 (0.67)    | 突発性発しん   | 0.29 (0.00)    |
| 咽頭結膜熱         | 2.57 (0.75)    | ヘルパンギーナ  | — (0.00)       |
| A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 | 2.14 (0.83)    | 流行性耳下腺炎  | 0.29 (0.00)    |
| 感染性胃腸炎        | 2.57 (1.00)    | 急性出血性結膜炎 | — (0.00)       |
| 水痘            | — (0.00)       | 流行性角結膜炎  | — (0.00)       |

定点あたりの報告数 = 1週間の報告件数 / 定点数

警 報: 1週間の定点あたり報告数が、ある基準値(警報の開始基準値)以上の場合に発生します。

前の週に警報が発生していた場合、1週間の定点あたり報告数が別の基準値(警報の継続基準値)以上の場合に発生します。

注意報: 警報が発生していないときに、1週間の定点あたり報告数が、ある基準値(注意報の基準値)以上の場合に発生します。

全数把握疾患 <全ての医療機関から医師の届出が義務付けられている感染症>

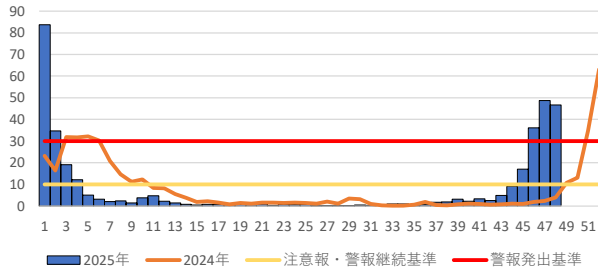
| 分類    | 報告     |
|-------|--------|
| 1類感染症 | 報告なし   |
| 2類感染症 | 結核(2件) |
| 3類感染症 | 報告なし   |
| 4類感染症 | 報告なし   |
| 5類感染症 | 報告なし   |

※このデータは速報値であり、今後変更等が行われる可能性があります。ご了承ください。

参考: 京都府感染症情報センター <https://www.pref.kyoto.jp/idsc/>

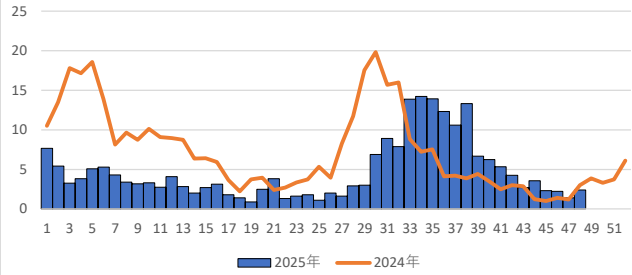
# 山城北保健所管内定点当たり報告数推移

インフルエンザ



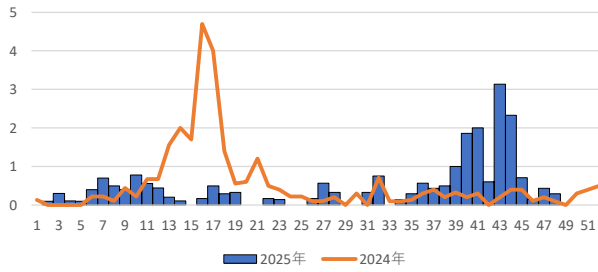
新型コロナウイルス感染症

警報基準なし

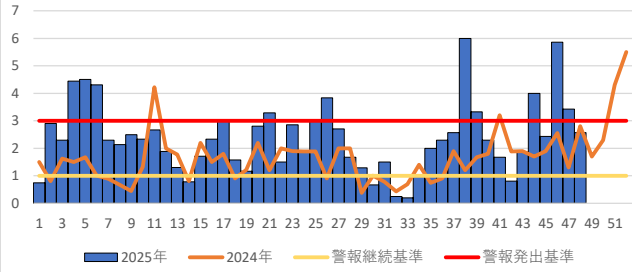


RSウイルス感染症

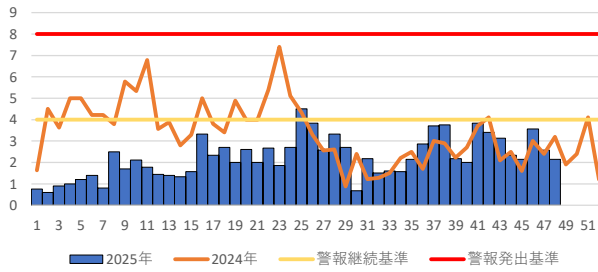
警報基準なし



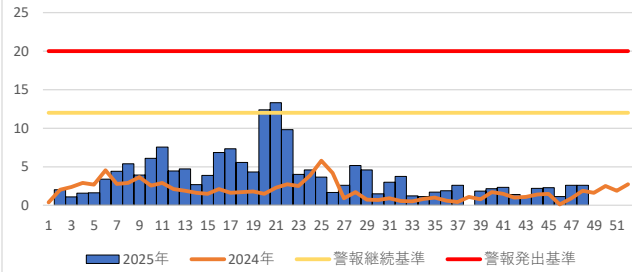
咽頭結膜熱



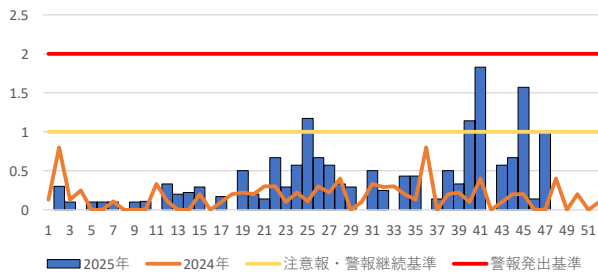
A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎



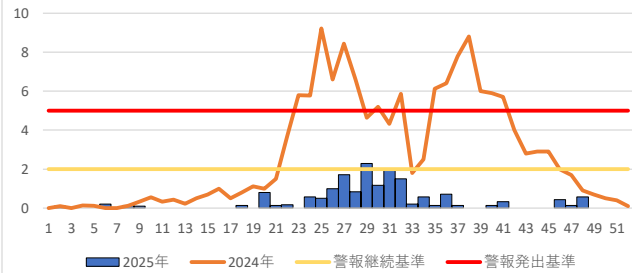
感染性胃腸炎



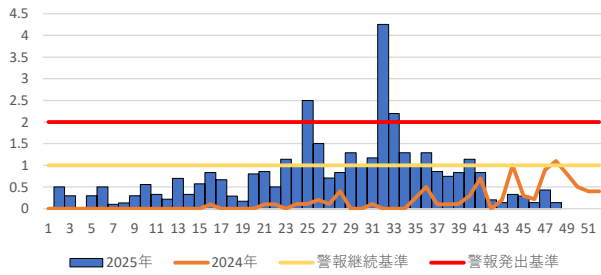
水痘



手足口病

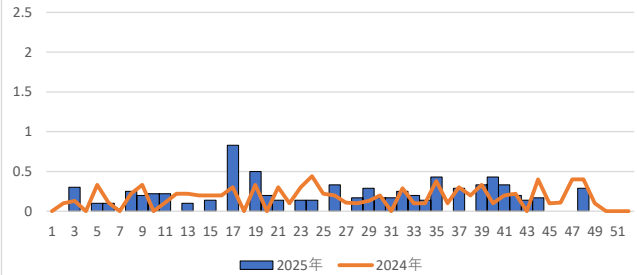


伝染性紅斑

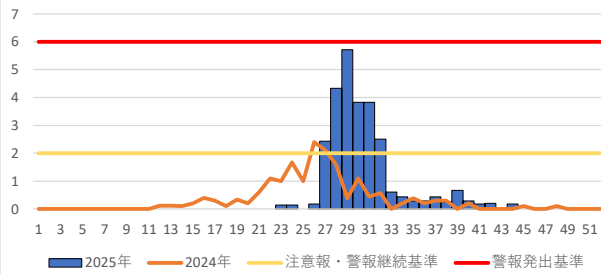


突発性発しん

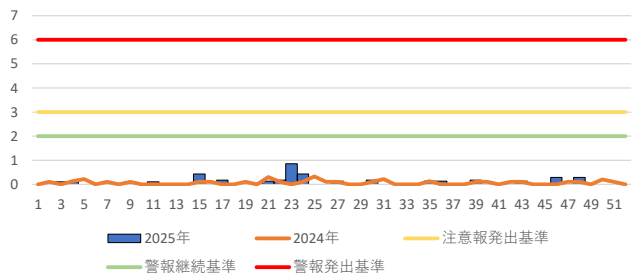
警報基準なし



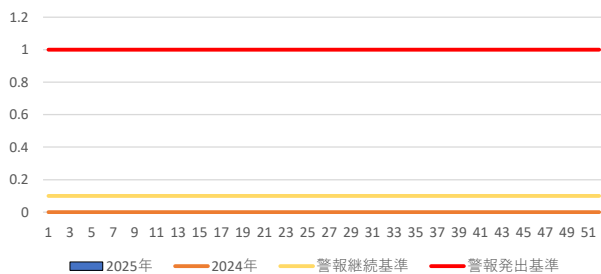
ヘルパンギーナ



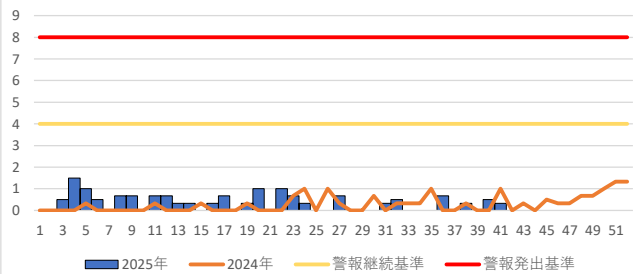
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎



流行性角結膜炎



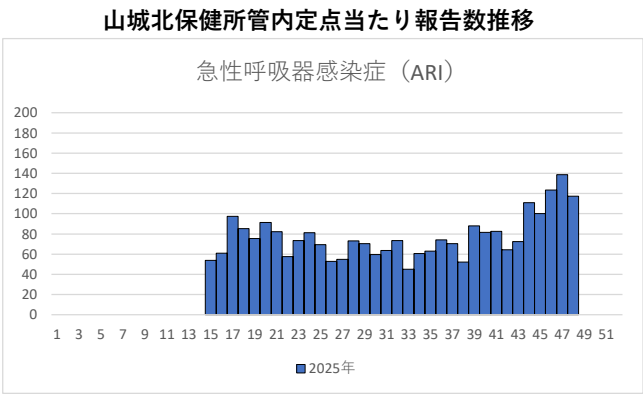
急性呼吸器感染症（ARI）とは

急性呼吸器感染症（Acute Respiratory Infection：ARI）とは、急性の上気道炎（鼻炎、副鼻腔炎、中耳炎、咽頭炎、喉頭炎）又は下気道炎（気管支炎、細気管支炎、肺炎）を指す病原体による症候群の総称です。インフルエンザ、新型コロナウイルス、RSウイルス、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、ヘルパンギーナなどが含まれます。

令和7年4月7日からARIが感染症法上の5類感染症に位置付けられ、定点サーベイランスの対象となりました。以下の症例定義（※）を満たす場合に報告対象となることから、インフルエンザやCOVID-19等と診断された場合でも、ARIの症例定義の症状があれば両方の報告対象となります。

※ 咳嗽(がいそう)、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁(びじゅう)、鼻閉(びへい)のいずれか1つの症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例

|               | 定点あたりの報告数（前週比） |
|---------------|----------------|
| 急性呼吸器感染症（ARI） | 117.43（0.85）   |



※ 急性呼吸器感染症：2025年4月7日から集計を開始

参考：京都府感染症情報センター 京都府におけるARI発生状況

<https://www.pref.kyoto.jp/idsc/old/ari.html>